

令和3年度事業報告

時代は「モノ」づくりから「コト」づくりへ変化しています。「モノ」によって私たちのライフスタイルはこんなに素敵になるというように、付加価値の源泉が「モノ」から「モノ」が生み出す機能や効用、すなわちライフサイクル全般を対象に体験価値を提供する「コト」へシフトしています。

What（何が良いのか）だけではなく、Why（なぜそのモノなのか）が求められるという点では、私たちの提供するサービスも同じであると考えます。人財の確保や育成、専門性の向上にはどの法人も力を入れており、「何が良いのか」というだけで選ばれる時代ではなくなってきました。利用者にとってもスタッフにとっても、

「福成会が良い」ではなく、「なぜ福成会でなければならないのか」、そんなことを実感していただける3年を目指し、中期経営計画「第6期マスタープラン～持続可能な法人へ～」に基づき、「ミドルマネージャーの充足に向けた、人財の確保と育成」

「地域共生社会を実現する事業モデルの完成」「事業を安定的に継続し、次の事業展開に向けた資金を蓄えるための事業活動資金収支差額7,000万円以上」の中期事業目標に沿って、経営の安定に努め事業運営をしました。

【総務部】

新規事業展開や地域共生社会を実現する事業モデルを定着させるため、バックオフィスの役割として広報戦略による人財確保や、やりがいと安心感を向上させることによる人財定着に注力します。

〈成 果〉

①・チームワークや明るい雰囲気・人財育成制度と資格取得制度・安心・安全な職場・各種優良企業認定の取得状況を、HP・SNSを活用して発信することでスピード感のある広報戦略を展開し、超情報化社会に対応しました。

②しゃべり場の開催など横断的につながる機会の創出や非常勤職員の処遇を見直し、スタッフの安心感を向上させました。

③人財の確保に向けオンライン面接を導入し6名の学生の利用につながりました。また、奨学金返済サポート制度の導入を検討し、令和4年度からサポートできる制度ができました。

【清流園】

利用者が安心とやりがいをもって活動していただけるよう、サービスや専門知識について振り返る機会を設けながら人財育成に力を注ぎます。また地域共生社会の実現に向け、生活全体の状況を踏まえ必要なサポートを提供できるよう、関係者と密に連絡を取りながらすすめます。

《成 果》

- ①仕事のやりがいや不安を話すことでスタッフ満足度を高めるよう、月に1回、1～3年目のスタッフと話し合う機会を設けました。
- ②地域共生社会の実現のために、セントラルと情報共有を行い、通院対応などできる範囲の柔軟な組織体制での取り組みを11月より開始しました。
- ③見学やボランティアに興味や関心をもって来てもらうために、事業所の取り組みを視覚化し、関係機関の2か所で掲載しました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	5月25日	障害福祉新任職員研修	Web	1名
2	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月2日	OJTリーダー養成研修 (基礎編)	福祉人材研修センター	1名
3	兵庫県社会福祉事業団 福祉のまちづくり研究所	8月6日	利用者と介護者の体を守る介護技術研修 (姿勢管理編)	福祉のまちづくり研究所	1名
4	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	8月20日 11月5日	OJTリーダー養成研修 (実践編)	福祉人材研修センター	1名

【塚口福成園】

塚口福成園だけで完結することのない地域共生社会の実現を目指します。各関係機関とも連携を取りながら、利用者の安全確保とニーズに合う多機能型（生活介護事業・就労継続支援B型事業）のサービス提供を実施します。

《成 果》

- ①新しい生活様式を取り入れながら感染防止に努め、スタッフのやりがい向上に向けて人材育成をしました。
- ②事業所が地域の社会資源の1つとして望まれるように場所提供や見学受入・地域清掃等の協力を行い、地域との連携強化を図りました。
- ③事業所の経営安定に向けて、ニーズに合うサービス調整を行いながら稼働率96%以上にしました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	6月25日	障害福祉新任職員研修	Web	2名
2	(福)一羊会	11月29日	実践発表会	Web	2名
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	1月20日 ~1月21日	相談面接技術研修（初級）	福祉人材研修センター	1名
4	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	2月15日 2月17日	社会福祉法人人材管理研修	YouTube視聴	1名
5	阪丹但地区 知的障害者施設協会	3月2日	コロナ禍のメンタルヘルスケア	Web	1名
6	兵庫県知的障害者施設協会	3月9日	強度行動障害スーパーバイザー 養成講座における実践報告会	Web	1名
7	兵庫セルフセンター	3月24日	インボイス制度セミナー	Web	1名

【杭瀬福成園】

障害特性に応じた専門的な支援を向上させ、スタッフ一人ひとりが利用者への感謝を込めてサービスを提供します。そのために業務の見直しと効率化を図り、コロナ禍における感染防止策の徹底による安心感等、働きがいのある事業所を目指します。

《 成 果 》

- ①業務整理検討会を行い、課題分析を行うなかで年間超過勤務を全体で3%（月平均4時間）削減に繋がりました。
- ②新型コロナ感染防止の対策や支援工夫を県知的障害者施設協会の研修会やHP等で発信し、取り組みをPRしました。
- ③県知的障害者施設協会の「強度行動障害研修」を通して学びを深め、7月には外部研修事例報告、1月には法人内で実践報告を行うとともに支援スキルの向上に繋がりました。

《 外部研修受講一覧 》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	5月25日	障害福祉新任职員研修	Web	1名
2	兵庫県知的障害者施設協会	7月15日	強度行動障害スーパーバイザー養成講座における実践報告会	Web	1名
3	川西市男女共同参画センター 川西市市民活動センター	10月15日	ホワイトボードミーティング研修会	川西市男女共同参画センター 川西市市民活動センター	1名
4	(独) 国立重度知的障害総合施設のぞみの園	1月11日	障害のある人の生活習慣病 ～予防に必要なこと～	Web	1名
5	尼崎市健康福祉局	1月14日	権利擁護の視点 ～積極的な虐待防止のために～	Web	1名
6	兵庫県知的障害者施設協会 (福) 阪神福祉事業団ななくさ学園	2月5日	重度の知的障害を捉える自閉症の評価と実践 ～現場で取り組むアセスメント～	Web	2名
7	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	2月16日	社会福祉法人人財管理研修	YouTube視聴	1名
8	兵庫県知的障害者施設協会	3月9日	強度行動障害SV養成講座 実践報告会	Web	2名

【あいあい】

スタッフ個々がおもてなしの心をベースにしながら「専門性」と「楽しさ」を追求した活動を提供することで、利用者が「来て良かった」と思えるサービスを提供します。また地域共生の実現に向け、相互理解が深められるように事業所の機能を活用します。

《成 果》

- ①業務の見直しや会議の効率化を進めることによって、超過勤務時間を前年度の10% (10時間/月)削減しました。
- ②コロナ禍により関わりの減ってしまった地域との繋がりを、再度顔の見える関係が拡大・維持できるように機会を作り、相互理解の深化へと繋げました。
- ③活動の本質である「楽しめる活動」に向き合い、利用者の満足度向上に努めました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	4月24日	ベーシック講座 ①自閉症の特性理解	Web	2名
2	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	5月8日	ベーシック講座 ②評価から支援へ	Web	2名
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	5月25日	障害福祉新任職員研修	Web	1名
4	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	5月29日	ベーシック講座 ③構造化のアイデア	Web	2名
5	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	6月12日	ベーシック講座 ④コミュニケーション	Web	2名
6	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	6月26日	ベーシック講座 ⑤問題行動の理解と対応	Web	2名
7	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月2日	OJTリーダー養成研修 (基礎編)	福祉人材研修センター	1名
8	尼崎市健康福祉局	1月14日	権利擁護の視点 ～積極的な虐待防止のために～	Web	1名
9	阪丹但地区 知的障害者施設協会	1月18日	コロナウイルス対策研修	Web	1名
10	(一社)兵庫県知的障害者施設協会 (福)阪神福祉事業団ななくさ学園	2月5日	重度の知的障害を捉える自閉症の評価と実践 ～現場で取り組むアセスメント～	Web	1名
11	防災と福祉の連携による個別避難 計画作成促進事業実行委員会	2月18日	防災と福祉の連携促進シンポジウム	Web	1名
12	阪丹但地区 知的障害者施設協会	3月2日	コロナ禍のメンタルヘルスケア	Web	1名

【チャレンジ・コヤリバ】

利用者の自己実現が叶い、就労を通じて安心した地域生活を送れるように、就労支援や各障害特性に合わせた支援を行います。生活支援の専門性の向上や労働法などの周辺領域の知識の向上と、それらの周辺領域の支援に協力を得られるように関係機関と協力体制を構築します。また、障害のある方の働きや就労支援を知っていただける発信を行います。

《成 果》

- ①障害のある方の様々な働きや必要な就労支援を伝え、社会の中で活躍できることなど認知向上を促進するため、様々な媒体を使い外部へ発信しました。
- ②外部研修等を活用し、プログラム強化を行い、就労支援や自立した生活を送れるようにスキルや知識を獲得しました。
- ③異業種との交流を行うことで、人材の育成と事業の強化に繋がりました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	鳥取県障害者就労事業振興センター	5月12日	工賃向上フォーラム2021	Web	1名
2	兵庫障害者職業センター	8月2日 ~8月4日	就業支援基礎研修	明石市商工会館	1名
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	5月12日	リスクマネジメント研修 (虐待防止対策)	福祉人材研修センター	1名
4	全国セルフ	11月1日	就労移行支援事業部会	Web	2名
5	全国セルフ	11月2日	全体部会	Web	1名
6	全国セルフ	11月4日	就労継続支援事業部会	Web	2名
7	全国社会福祉法人 経営者協議会	11月16日 1月11日	生産性向上セミナー	Web	1名
8	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	12月7日	リスクマネジメント研修 (感染症対策)	福祉人材研修センター	1名
9	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	12月13日	リスクマネジメント研修 (苦情・クレーム対応)	福祉人材研修センター	1名
10	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	1月20日 ~1月21日	相談面接技術研修(初級)	福祉人材研修センター	1名
11	大阪生活訓練NET	1月29日	大阪生活訓練NET 実践技術リモート研修会	Web	1名
12	日本セルフセンター	2月2日	障害福祉事業所の 『実践的』現場改善【第1回】	Web	1名
13	日本セルフセンター	3月1日	障害福祉事業所の 『実践的』現場改善【第2回】	Web	2名
14	CEF実行委員会	3月12日 ~3月13日	CEF2022	Web	2名

【サポートセンターまつば】

利用者が歳を重ねても安心して利用していただけるように見学や研修受講により重度高齢利用者支援についての専門性を高めます。また、笑顔で安心した生活を提供できるように、学んできた各障害種別（自閉症、ダウン症、強度行動障害等）の技法を用いて笑顔で安心できる環境を作ります。スタッフが利用者一人ひとりに親切丁寧なサービスを提供できるように人財育成を行います。

《 成 果 》

- ①一人2回以上のスタッフ育成面接の機会を持ち、やりがいや参画意識を持って仕事ができる人財育成を行いました。
- ②令和4年4月開始予定の「加齢にともなう重度化支援」に向け、見学や研修受講により必要な知識や技術を磨き環境を整えました。
- ③事業の維持継続に向け利用契約者が増やせるように相談支援事業所や支援学校、行政などへ営業活動を行った結果、今年度で5名の契約ができましたが、家庭での支援の難しさなどにより退所者は5名となりました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	6月12日 6月26日	自閉症eサービス全国ネット人材育成プログラム ベーシック講座	Web	1名
2	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	6月25日	障害福祉新任職員研修	Web	1名
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月2日	OJTリーダー養成研修 (基礎編)	福祉人材研修センター	1名
4	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	7月2日	スペシャルトークセッション② 自閉症施設における高齢化対応	Web	1名
5	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	10月4日	チームアプローチ実践研修	福祉人材研修センター	1名
6	(福) いたみ杉の子 発達支援連携室	10月29日	実践報告会	サポートセンター いたみ杉の子	1名
7	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	11月2日	ストレスマネジメント研修	兵庫県福祉人材センター	1名
8	(福) 一羊会	11月29日	オンライン実践発表会	Web	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	3月9日	強度行動障害SV養成講座 実践報告会	Web	2名
10	兵庫県知的障害者施設協会	3月17日	強度行動障害SV養成講座 アセスメント研修	BIZ SPACE姫路	1名

【ぶちるぽ】

住み慣れた地域での安心できる暮らしが継続できるように、本人の宿泊経験の増加や緊急時の利用、介護者のレスパイトを目的とした宿泊を提供します。日中事業所とはまた違った利用者の状況に対して、スタッフ間で情報共有を行うことでより利用者の全体像の理解を深めます。

《成 果》

- ①法人内外の支援者間で情報交換等を密に行い、日中に行っている構造化の取り入れや宿泊期間がわかるカレンダーを取り入れ、利用者が安心して宿泊できる環境を作りました。
- ②各障害（自閉症、ダウン症、強度行動障害、重度高齢者等）の研修受講と伝達研修を行うことで利用者支援を深めました。
- ③法人唯一の短期入所事業として、ホームページで事業内容やスタッフの働き方等の広報を行いました。

【セントラル】

地域共生社会を実現するために、利用者が安心して暮らしていける地域環境への配慮を行い、それを支えていけるスタッフの専門性（自閉症スペクトラムや加齢に伴う重度化等）を向上させます。

《成 果》

①日常的な業務を洗い出し臨時職員への業務移行を検討は行ったが、月ごとの超過勤務時間を10時間（8%）削減は5回でした。

②地域共生社会の実現のため、清流園と情報共有を行い、柔軟な組織体制での取り組みを検討した結果令和4年度4月開始でエリア制を実施することが決まりました。

③高齢者介護系の研修受講し支援現場の見学を実施しました。増加傾向にある高齢利用者への支援についての研修を次年度実施予定しています。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	(福) さくらんぼ サポートセンターさくら	6月24日 ~6月30日	グループホーム職員研修	Web	8名
2	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	7月2日	自閉症施設における高齢化対応	Web	2名
3	兵庫県社会福祉事業団 福祉のまちづくり研究所	7月29日	利用者と介護者の体を守る介護技術研修（起居動作介助編）	福祉のまちづくり研究所	1名
4	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	10月23日	自閉症の人への医療的ケア	大阪府社会福祉会館	1名
5	日本グループホーム学会	10月27日	第17回日本グループホーム学会 オンライン全国大会	Web	1名
6	特定非営利活動法人 自閉症eサービス	10月30日	強度行動障害者支援における 標準的支援と人材育成について	Web	1名
7	(株) インサイト	11月15日	兵庫県BCP策定研修	Web	2名

【尼崎市障害者就労・生活支援センターのみ】

公益事業である役割として、関連機関との連携を実施して尼崎市内の就労支援のスキルアップを下支えし、障害のある方が生活し働く地域づくりと周知を目指していきます。また、障害種別を問わずに対応できる知識やスキルを身に付けて相談業務を実施します。そのため、業務の見直しと効率化を行い、相談支援員の学習機会や相談の実践に時間を避けるようにします。

《成 果》

- ①障害のある方や企業への一般就労相談や福祉的就労の支援、尼崎市のチャレンジ雇用を支える支援など尼崎市内で一つしかない事業として認知度をさらに上げていき、企業や障害福祉の支援機関、困窮者支援機関など幅広い機関と繋がりを強化しました。
- ②様々な障害のある方等に相談対応できるように、情報共有の場やOJTの機会でのスキルアップを行いました。
- ③障害者雇用のノウハウを法人内外へ波及できなかった。さらに雇用が促進するよう取り組みを行いました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	鳥取県障害者就労事業 振興センター	5月12日	工賃向上フォーラム2021	Web	1名
2	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	6月25日	障害福祉新任職員研修	Web	1名
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月2日	OJTリーダー養成研修 (基礎編)	福祉人材研修センター	1名
4	(福)いたみ杉の子	7月9日	発達のみずきによりそう支援 ～理解は丸ごとていねいに～	サポートセンター いたみ杉の子	1名
5	兵庫障害者職業センター	8月2日 ～8月4日	就業支援基礎研修 ラーニング・セッション2021 in阪神・神戸・淡路ブロック	神戸市産業振興センター	1名

【障害者就労支援事業】

尼崎市社会福祉協議会との社会福祉法人同士のコラボレーションした公益事業という内容を活かして、地域福祉に関わる方々へも広く周知を行い、障害のある方や生きづらさを抱える方の自立の一助となるようにしていきます。

《成 果》

- ①社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会とのコラボレーション事業として、障害者支援や困窮者支援など幅広く活用できる事業として、関係機関など広く事業の周知を行いました。
- ②様々な困難のある方々に利用してもらえるように、各機関と協力して受け入れ態勢を整えました。
- ③コロナ禍で職場実習の機会が少なくなっている特別支援学校の生徒に、活用してもらえるよう受け入れ態勢を整えました。

【相談支援センターことのは】

自立した生活の実現に向けて、本人の意思や最善の利益を尊重し、常に本人の立場に立って支援します。また、今後の社会資源の創出のため、関係機関と連携を行い、地域づくりを含めた相談支援を実践します。それらを実現するため、維持可能なサービス提供と質の向上のため、人材育成と研鑽に力を注ぎ、変化に対応できる相談支援体制を構築します。

《成 果》

- ①常に学びの姿勢を持ち、知り得た知識の共有と研鑽を行うことで、相談支援専門員としての専門的なスキルアップをしました。（行政や基幹相談支援センターとの定例会など）
- ②あらゆる関係機関と連携を図り、利用者の利益のために社会資源の把握を行います。また、高齢期への移行について検討し、今後の連携をスムーズにできるよう取り組みました。（社協、地域包括との定例会など）
- ③安定した経営を持続するべく、様々なケースに対応できるように、充実した相談体制を構築しました。（非常勤雇用、兼務相談員の運用など）

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	6月29日	コーチング研修Aコース	Web	1名
2	(株) インサイト	11月15日	BCP（感染症ver.） 策定・運用ポイント	Web	1名
3	(福) 三田谷治療教育院 治療教室	2月22日	おとなの発達障害と支援のポイント ～コミュニケーションのコツの中心に～	Web	1名

【リレくらしサポートセンター】

尼崎市内の障害のある方々が安心して生活できるように、グループホームの空床情報を公表することや、ネットワーク会議を開催することでグループホームや短期入所事業所の活性化を図り、緊急時にも市内の関係機関で受け入れられる環境作りとコーディネートをします。

《成 果》

- ①事業の理解が深まるように、サービス管理委員会でリレの事業について事例などを踏まえて伝えました。
- ②市内のグループホームや短期入所事業所に対して情報共有や研修の場となるネットワーク会議を、感染対策としてのリモート開催も含め年間3回、企画・運営をしました。
- ③ネットワーク会議や訪問を通じて関係機関との連携を深め、利用者が安心して生活できる町づくりの一つを進めました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	(公財)日本知的障害者福祉協会	8月20日	第32回全国グループホーム研修会	Web	2名
2	ぜんち共済(株)	9月29日	BCPオンラインセミナー	Web	1名
3	尼崎市健康福祉局	1月14日	権利擁護の視点 積極的な虐待防止のために	Web	2名
4	(一社)全日本自閉症支援者協会	2月16日	第34回全日本自閉症支援者協会研究会	Web	1名
5	(福)三田谷治療教育院	3月2日	対人支援で押さえておきたい基本姿勢	Web	1名
6	(福)一羊会	3月5日	意思決定支援って? ～イチから学び考える～	Web	1名